地域で広げよう！孫育ての和

ふじえだ育G（イクジィ）応援プロジェクト その26

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育てアドバイス　孫育てのモヤモヤ　息子の子と娘の子の違い

家制度が強かった頃は、家を継ぐ夫婦の子どもを「内孫」、それ以外の子どもを「外孫」と言い、「外孫」よりも「内孫」と「祖父母」とのかかわりが強かったようです。

近年はママ側の実家とのかかわりが強く、近居も増加しています。その背景には、家制度の衰退や、里帰り出産、ママが子育てや家事のサポートを義母よりも実母の方が頼みやすい、気を遣わなくてすむなどがあります。

その一方で、娘さんをお持ちの方からは「頼られすぎて、疲れる」という声も多く届きます。息子さんをお持ちの方からは「孫に会えなくて寂しい、もっと孫に会いたい」という声も。どちらの場合も、ぜひ、ご自身のお気持ちをパパママに伝え、楽しい時間を過ごしてください。全員が元気な時間は決して長くはないですから。

イラスト:Hina

アドバイザー
ぼうだ あきこ
NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育Gリレーコラム　自分のペースで孫育てを楽しむ

今月の育G

小澤 恵子さん（60歳）
職業：会社員
住所：市内水守
孫　：女の子(6歳、2歳)、男の子(3歳)

元々、子ども好きだったこともあり、初孫が生まれたときはとても嬉しかったです。どこの赤ちゃんよりも一番カワイイと本気で思いました。常に孫の味方でいたいですし、笑顔を見続けたいと思っています。孫の天真爛漫さは私自身の癒しや励みになっています。パパママの対応がちょっと違うなと感じても、直接注意するのではなく、代わりに私自身がやってみせて、さりげなくお手本を示すようにしています。そうすることでみんながハッピーになります。ただし、疲れているなと感じたら少し休憩を取り、自分のペースで孫育てを楽しむように心掛けています。どんなことでも人間関係での無理は禁物です。

自慢の孫フォト

環(たまき)ちゃん、新(あらた)くん
音寧(ねね)ちゃん

藤枝市からの子育て情報

子ども・子育て支援サイト&スマートフォンアプリ「ママフレ藤枝」をご利用ください

「ママフレ藤枝」では、子育て関連の行政サービスや施設情報等の閲覧ができます。アプリでは電子母子健康手帳や予防接種記録、プッシュ通知機能のほか、地図上で教育・保育施設や「あかちゃん駅」を検索できる施設マップなど便利な機能が満載です。ぜひ、ご利用ください。

ママフレ藤枝 webページ

感想募集中

こちらのQRコードへアクセスしご覧いただいた感想をお寄せください♪